

平成30年度第1回市政モニターアンケート
 富士市の「富士市民大学後期講演会」「不審者情報」について

●市政モニターの総数 100人(男性38人、女性62人) 回答者数98人(回答率98%)
 ※各回答は、小数点以下第2位で四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。

●実施期間 平成30年6月15日～7月2日

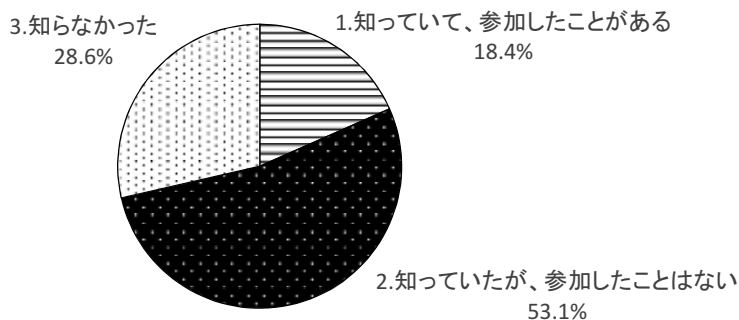
■「富士市民大学後期講演会」について

富士市では、豊かな人づくりをめざし、より高度で専門的な知識を学ぶため、「富士市民大学」を開設しています。
 前期は、大学と連携し専門科目を一定期間継続して学ぶ、夜間大学のような形式の「前期ミニカレッジ」を開催し、後期は著名な有識者、文化人などによる「後期講演会」を開催しています。
 「富士市民大学後期講演会」は、幅広い分野で知識・教養を深めようとする市民の意欲に応え、教育・文化・経済・スポーツ・芸能など、様々な分野で活躍する著名な講師を招いて講演会を開催し、受講した市民が自己を見つめ、より豊かな人生について考える機会としていただく事業です。
 今年度で第38回を迎え、9月から10月までの平日午後7時から8時30分まで、計6回にわたり講演会を実施しています。

問1 あなたは、「富士市民大学後期講演会」を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

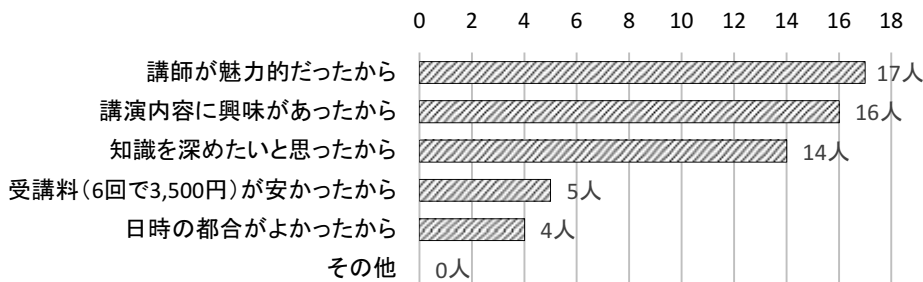
1.知っていて、参加したことがある	18人	18.4%
2.知っていたが、参加したことはない	52人	53.1%
3.知らなかった	28人	28.6%



問2 問1で、「1. 知っていて、参加したことがある」と答えた方に伺います。参加した理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 18人

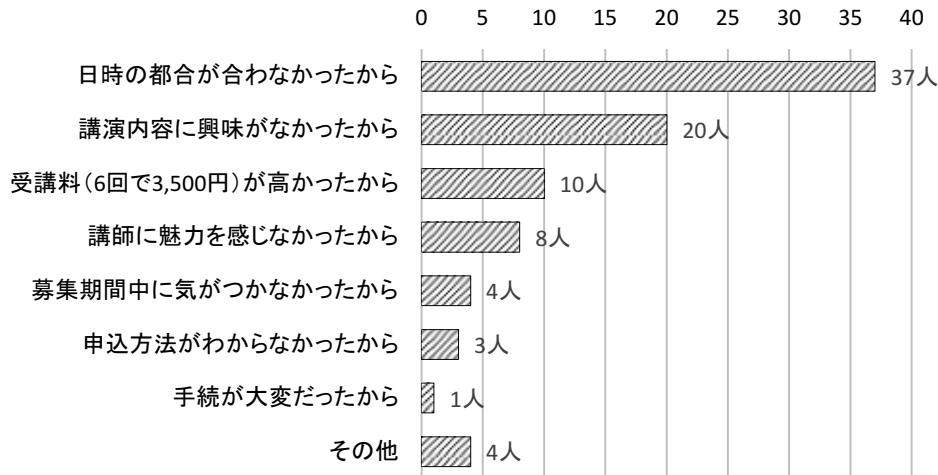
1.講演内容に興味があったから	16人	88.9%
2.講師が魅力的だったから	17人	94.4%
3.日時の都合がよかったから	4人	22.2%
4.受講料(6回で3,500円)が安かったから	5人	27.8%
5.知識を深めたいと思ったから	14人	77.8%
6.その他	0人	0.0%



問3 問1で、「2. 知っていたが、参加したことはない」と答えた方に伺います。参加しなかった理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 52人

1.講演内容に興味がなかったから	20人	38.5%
2.講師に魅力を感じなかったから	8人	15.4%
3.日時の都合が合わなかったから	37人	71.2%
4.受講料(6回で3,500円)が高かったから	10人	19.2%
5.手続が大変だったから	1人	1.9%
6.申込方法がわからなかったから	3人	5.8%
7.募集期間中に気がつかなかったから	4人	7.7%
8.その他	4人	7.7%



●その他の理由

- ・ 場所が遠方だから
- ・ 昼間の時間帯ならば参加も考えるが、夜の外出は車の運転をあまりしたくないし、疲れてしまいそうで気が進まない。6回全て参加できるかわからないので、例えば、1回500円なら参加したかもしれない
- ・ 子どもを連れて夜の参加は難しい

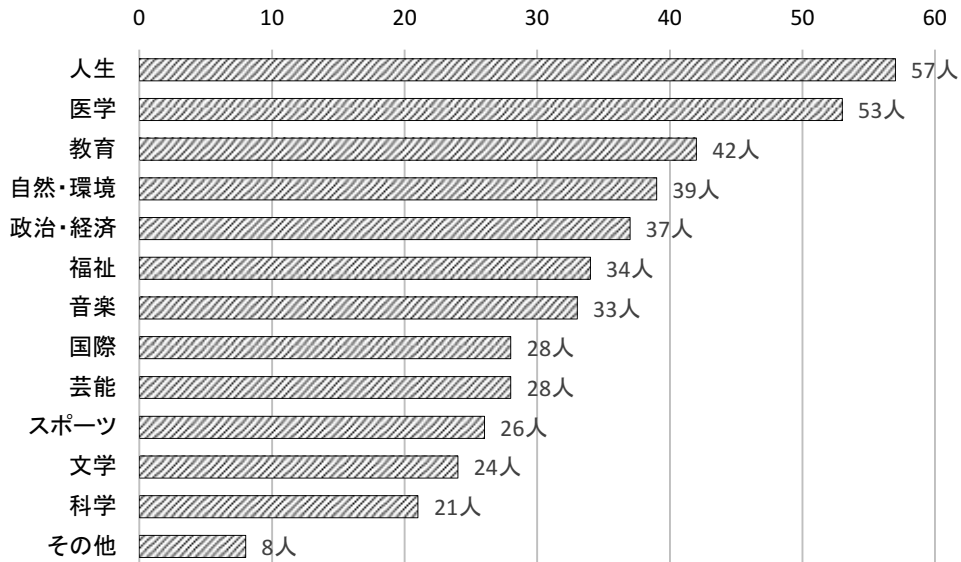
問4 「富士市民大学後期講演会」では、各分野の著名人を講師として招き、講演会を実施しています。次の中からあなたが聞きたいと思うジャンルを全て選んでください。

回答者数 98人

1.政治・経済	37人	37.8%	7.人生	57人	58.2%
2.文学	24人	24.5%	8.自然・環境	39人	39.8%
3.スポーツ	26人	26.5%	9.科学	21人	21.4%
4.医学	53人	54.1%	10.音楽	33人	33.7%
5.福祉	34人	34.7%	11.国際	28人	28.6%
6.教育	42人	42.9%	12.芸能	28人	28.6%
			13.その他	8人	8.2%

●その他のジャンル

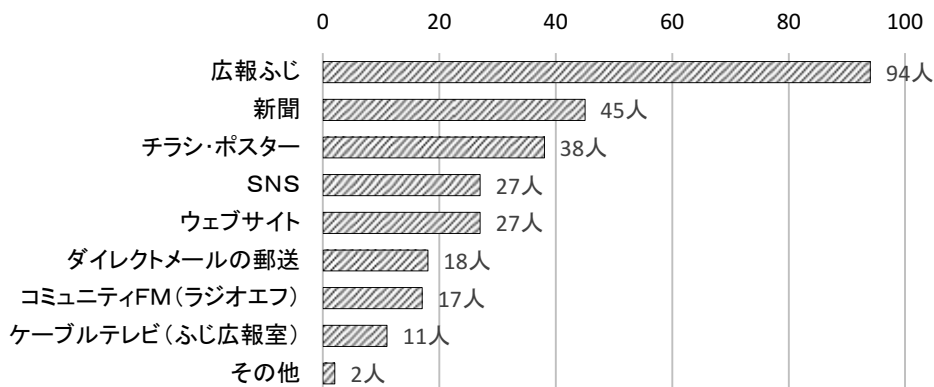
- ・ 美容
- ・ 食育
- ・ IT
- ・ 映画
- ・ 占い
- ・ 弁護士(離婚や相続など)
- ・ 料理関係(有名シェフや料理研究者、パティシエ)
- ・ 分野に関係なく、著名人であれば、みんなが参考になる話が聞けると思う



問5 「富士市民大学後期講演会」について、あなたが情報を得るのに、有効だと思う媒体は何ですか。
有効だと思うものを全て選んでください。

回答者数 98人

1.広報ふじ	94人	95.9%
2.新聞	45人	45.9%
3.SNS (フェイスブック・ツイッター・ユーチューブなど)	27人	27.6%
4.ダイレクトメールの郵送	18人	18.4%
5.チラシ・ポスター	38人	38.8%
6.ウェブサイト	27人	27.6%
7.コミュニティFM(ラジオエフ)	17人	17.3%
8.ケーブルテレビ(ふじ広報室)	11人	11.2%
9.その他	2人	2.0%



●その他の媒体

- ・小・中学校を通して子どもにお知らせを配布する
- ・テレビ

問 6 「富士市民大学後期講演会」について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

問 1 で「1 知っていて参加したことがある」と回答

- 興味があった人の話は、面白かった。今話題になっている人を講師にしてほしい(50 代女性)
- 各分野のトップレベルの先生方のお話を聞き、これまで知らなかったこと、なるほどと思うこと、目からウロコが落ちたこと、参考になる話ばかりで、自分の人生の糧になった(70 代男性)
- 作家やグルメ雑誌の編集長、まちづくりで成功しつつある仕掛け人さんなどの話が聞きたい(60 代女性)
- 駐車場を確保した方がよい(60 代女性)
- 家族を介護している人が、高齢者同士の介護方法などを考えたり、高齢の人や若い人がよりよい介護方法などを考えたりする機会があればよい。現在は、講義の内容が難しいため、参考にする人や生かせる人は少ないと思う(80 代男性)
- 場所が近く、安価で、知識教養を身につけることができるこの上ないチャンスだと思い、とても興味がある(70 代男性)
- 多くの講師の話を聞き、私の人生に少なからずプラスになっている。これからもできる限り参加したい。毎年参加していたが、去年は体調がすぐれず参加できなかった。6 回という回数はちょうどよい(80 代男性)
- 郷土の古代史などの歴史講座を希望する(70 代男性)
- 講師の選定に苦慮していると思うが、時代の流れに沿った、タイムリーな人を講師に呼んでほしい(50 代女性)
- 駐車場確保が大変(60 代女性)
- 何回か参加し、楽しく聴講できた。また機会があれば参加したい(50 代女性)

問 1 で「2.知っていたが参加したことはない」と回答

- 参加してみたい気持ちはあるが参加したことはない(60 代女性)
- 外に出るのが好きな人にはよいと思う(50 代女性)
- 5 回すべての出席は難しい。1 回だけでも出席できるのか(50 代女性)
- 市民が一方的に話を聞くだけでなく、フリートークや実践の場が必要。中学・高校生にも聞かせたいテーマが見受けられるので、安い料金で招待する制度がほしい(60 代男性)
- もっと手軽に行けると、参加しやすい(40 代女性)
- 夜間に外出できるようになったら参加してみたい(60 代女性)
- 小学 2 年生の息子がいる。託児所か、子どもと一緒に参加できる講演会を希望する(40 代男性)
- 日時の都合があれば、知識や教養を深めるため、受講してみたい(40 代男性)
- 参加したことがないので細かい点はわからないが、内容によっては託児所があったり、午前・午後のどちらかを選択できたりすると参加者がふえるのではないか(50 代女性)

- 地方に住んでいると、テレビで見るような著名人の方の話を聞く機会が少ないので、これからも続けてほしい(40 代女性)
- 参加したいと常々思っている(60 代男性)
- 多方面の内容で、幅広い世代の人が参加しやすい身近なテーマを取り上げてくれると認知度が上がるのではないかと(40 代女性)
- 講師が偏らないようにするとともに、市民のニーズをよくくみ取ることが大事。講演会の趣旨が何であるか発信する必要がある(70 代男性)
- とてもよい事業で、参加できればより豊かな毎日が過ごせると思うが、参加しない理由は開催時間。「夜間大学のような」と銘打っている以上、無理は承知しているが、午後 7 時というのは、私にとっては体力的に参加不可能。「どんな講演なのだろう。ぜひ聴講してみたい」と思いながら、今に至っており、とても残念(60 代女性)
- 夜、出かけることがおっくうになり、ロゼシアターの駐車場が少ないので行く気にならない。また、特別聞きたいと思う講師や内容も今までなかった(50 代女性)
- 夜間なので、社会人は参加しやすく、内容も充実していてよい。私は主婦のため、子どもを夜間に預けてまで参加することは厳しい(40 代女性)
- 希望する講演を選んで申し込みできれば受講料が抑えられてよい(50 代女性)
- 自分が興味ある人は「玄秀盛(日本駆け込み寺代表)」「猪狩ともか(車椅子アイドル)」「森永卓郎(経済アナリスト)」「桐谷広人(株主優待)」「バッドアスソワーズ(車椅子アイドル)」「野々村友紀子(吉本興業)」(50 代男性)
- 芸能人や有名なスポーツ選手の講演を聞きたい(40 代男性)
- 昼間に行くことは不可能か検討をお願いしたい(60 代女性)
- 日程が合えば、行ってみたい(40 代女性)
- 平日夜という時間帯に行ける人は限られていると思う(30 代女性)
- 幼稚園、小学校に通う子どもがいる身では夜の外出は遠慮したいが、昼間は仕事をしている人の参加が難しい。その間の対策がとられればよい(30 代女性)
- 平日だと次の日仕事などがある人は大変だと思う。金曜日の夜や休日の午前中などに行うほうが参加できる人が増えるのではないかと。講演会について知っている人がまだまだ少ないと思うのでさまざまな方法でアピールする必要がある(10 代女性)
- 自分の歩みや実績を語るような講師には興味が持てない。個人により好みが分かれるので人選は難しい。希望する講演を選べるようにしてほしい(60 代男性)
- 子育て中の主婦としては、どんなにすばらしい講座でも参加費 1,000 円程度までが出しやすい金額(30 代女性)
- 直接会場で聞くという手法にこだわらず、料金を払えばインターネット上などで好きな時間に見られるようにすると、当日会場に行った人は後で見返すことができ、当日行けない人は空いた時間に見ることができる。質問を受け付けるような講演であれば、メールやはがきなどで受け付けられるよう講師に頼めばよい(20 代男性)

- この内容で、市民のどれだけのニーズに対応しているのかよくわからないが、一定の市民のニーズがあったとして、このような講演や聴講的なものだけでなく、別の企画・運営もあるのではないか。また、市民のニーズがあまりなく、一部の要望程度であれば、継続運営についても見直しが必要(60代男性)
- 瀬戸内寂聴さんや、江原啓之さんなどお話がおもしろい人の講演に行ってみたい。若い人も興味を持つと思う(30代女性)
- 非常に興味のある内容だが、時間の都合がつかず受講できていない。連続受講が難しいケースも考えられるので、一回のみ参加などができるとよい。一部は週末に実施するなどしてもよいのではないか(30代女性)
- 生の聴講が一番よいが、録画したものを後で視聴できるようにしてほしい(50代男性)

問1で「3.知らなかった」と回答

- 今回初めて知った。興味ある講演会があれば参加したい。もっと周知してほしい(30代女性)
- 38回も行われているのに全く知らなかった。いつどこで行われているのか、どんな内容なのか興味湧いた(30代女性)
- 全く知らなかったが、子どもが小さいため、参加はできない(30代女性)
- フルタイムで働いているため、都合がつかず参加するのは難しい(40代男性)
- 20～30代、40～60代、60代以上など、年代別は可能か。身近な問題の内容がよい(80代男性)
- タイトルがかたいイメージ(40代女性)
- 開催されていることを知らなかったので、もっと幅広い人に知ってもらえるように告知をしっかりとしてほしい(30代女性)
- 共働きで、幼児、小学生の子育て中のため、参加することが難しい状況だが、機会があればぜひ参加したい。これからも続けてほしい(30代女性)
- 講演会と聞くととても堅苦しい感じがする。若い人たちに興味を持ってもらいたいなら他の名称でもいいのではないか。私は現在育児中なので、育児についての講演会があったら参加したい(20代女性)
- 興味のある講演内容であれば参加してみたい。大都市では、無料のセミナーや講演会などが開催されており、うらやましい。池上彰氏、女性の憧れの女優、アナウンサーなどの講演は人が集まりやすいと思う。少し年配の人は、金融の話なども興味があるのではないか(40代女性)
- 社会人になってからは、学べる場所を探すだけでも大変。このような講演会は、自身のレベルアップにつながりよい(30代女性)
- 今回のアンケートで認識した。希望する内容であれば参加したい(60代男性)

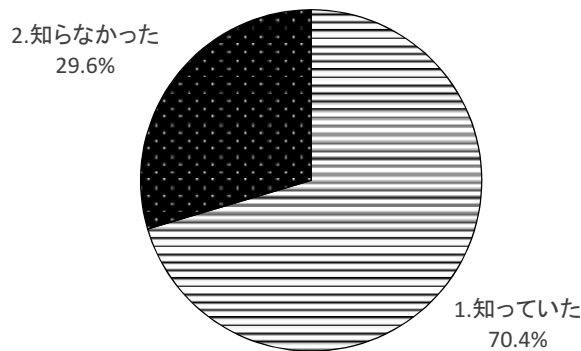
■「不審者情報」について

市内で不審者が確認された際、静岡県警は「SPくん安心メール」で、市は警察から情報を受け「不審者出没情報メール」やウェブサイトで不審者情報を発信しています。
 また、小中学校などでは、独自に「フェアキャスト」という利用者限定のメールサービスで発信しているところもあります。

問7 市などが不審者情報を発信していることを知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

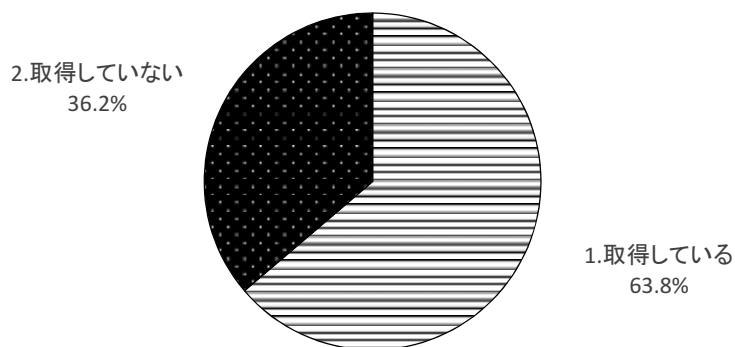
1.知っていた	69人	70.4%
2.知らなかった	29人	29.6%



問8 問7で「1. 知っていた」と答えた方に伺います。普段、上記のメールサービスを登録したり、ウェブサイトを閲覧したりして、不審者情報を取得していますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 69人

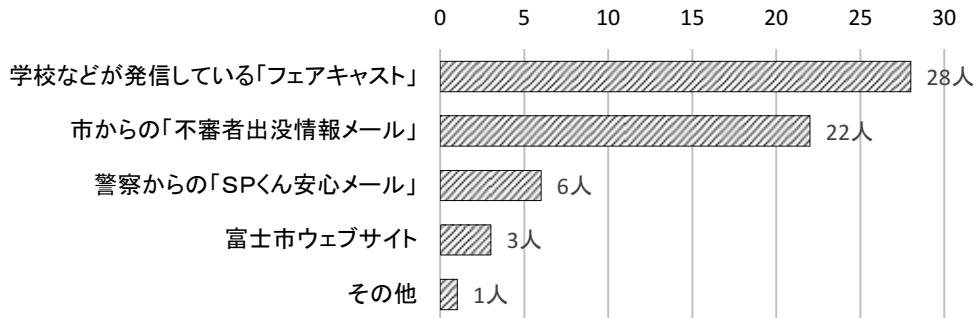
1.取得している	44人	63.8%
2.取得していない	25人	36.2%



問9 問8で「1. 取得している」と答えた方に伺います。不信者情報をどのような方法で取得していますか。
次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 44人

1.警察からの「SPくん安心メール」	6人	13.6%
2.市からの「不審者出没情報メール」	22人	50.0%
3.学校などが発信している「フェアキャスト」	28人	63.6%
4.富士市ウェブサイト	3人	6.8%
5.その他	1人	2.3%



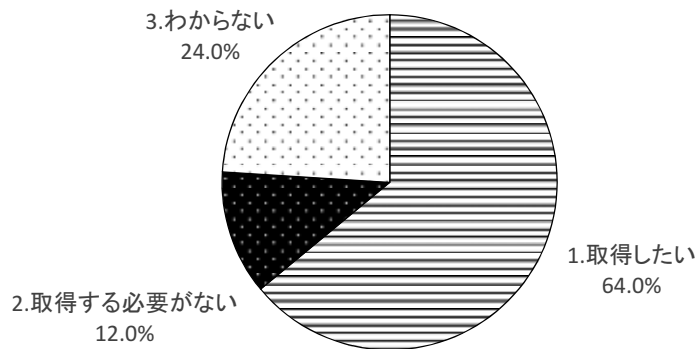
●その他の取得方法

- ・スマートフォンアプリの「Yahoo!防災速報」で富士市の情報を得ている

問10 問8で「2. 取得していない」と答えた方に伺います。今後、不審者情報を取得したいと思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。

1.取得したい	16人	64.0%
2.取得する必要がない	3人	12.0%
3.わからない	6人	24.0%

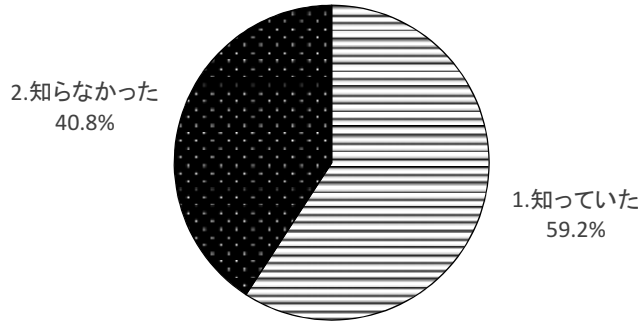
回答者数 25人



問11 同報無線(火災や行方不明のご協力をお願いなどが流れる放送システム)により、毎月15日の「子どもの安全を守る市民行動の日」に、子どもたちを見守る軒先運動へのご協力のお願いを放送していることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

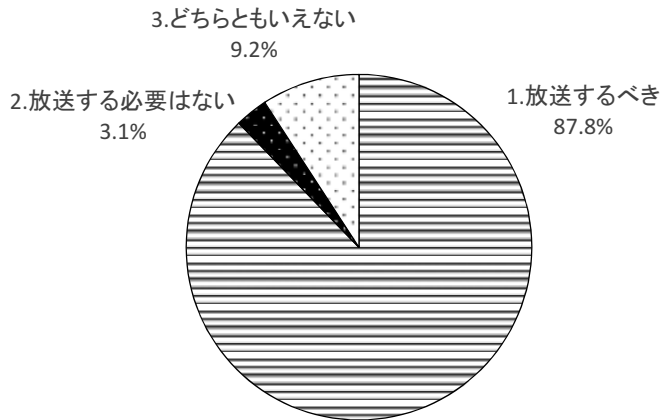
1.知っていた	58人	59.2%
2.知らなかった	40人	40.8%



問12 今後、頻繁に不審者が確認されたり、悪質な事件が発生したりした場合などに、同報無線により注意喚起の情報を放送するべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

1.放送するべき	86人	87.8%
2.放送する必要はない	3人	3.1%
3.どちらともいえない	9人	9.2%



問 13 「不審者情報」について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

メールサービスについて

- 市からの「不審者出没情報メール」を受信しているが、声かけ事案などが多いことに驚く。子どもの通学路付近で不審者が出没した時など、注意を促すことに役立っている(40 代女性)
- 不審者が出没した地域の地図があるととてもわかりやすい(20 代女性)
- 情報送信の回数に驚くが、こまめに送信されるので把握できる。強盗など、事件性が特に強いものに関しては、時々状況を教えてくれると、安心するのではないか。例:「〇月〇日の～の件で、犯人は捕まりました。」「〇月〇日の～の件は解決しました。」(40 代女性)
- 不審者情報が届くたびに、子どもに気をつけるよう話をする。発生場所やどんな事案だったのかわかるのでよい(30 代女性)
- メールサービスに登録していない人にも不審者情報が届く方法があるとよい(30 代女性)
- うちには小学生と幼稚園児がいるので、近くで発生したことがわかりありがたい(40 代女性)
- 子どもの通学区以外の地域の不審者情報も知ることができ、注意喚起につながるので、とてもよい(40 代女性)
- 自分の近くの地区での情報はメールを真剣に見るが、ちょっと離れた地区は情報としてさらっと見るだけになってしまう。我が家には高校生がいるので、高校生に関わる情報は学校全体に呼びかけられるような方法があるとよい(40 代女性)
- 学校のフェアキャストでメールが流れてくるが、他地区の情報も同様に流してもらいたい。外出先でも警戒し、身を守れる(40 代女性)
- 小・中学校では「フェアキャスト」で不審者情報を知らせてもらっているが、土日休日など、子ども同士で遊んだり、外出したりする機会が多いときなどにとても役立っている。近所に住む両親にも知らせるなど、情報を伝達している(40 代男性)
- 子どもが通学していたころにはフェアキャストを利用していた。地域住民が情報を共有して、万が一に備えることができ、親も安全安心に気をつけることができ、とてもよい取り組みだと思う(50 代女性)
- 子どもが小学生になり、エスピーくん安心メールの案内が来てその存在を知り登録した。メールが来ない日がないのではないかと思うほど、不審者情報の連絡が入り、防犯意識が高まった。子どもにも注意を促している(30 代女性)

同報無線について

- 同報無線を放送することで、気をつけることもでき、防止にも役立つ(50 代男性)
- 同報無線は場所によって入りにくいところがあり、高齢者に聞き取りにくいなどの改善すべき点もある(50 代女性)
- 同報無線は赤ちゃんや夜勤の人たちのことを考えると、どうかと思う。私は人づき合いが苦手だが、地域のつながりが密になればよい(30 代女性)

- 不審者情報を共有するため、同報無線を使用し情報を流してほしい(80 代男性)
- 子どもに関わる事件を耳にするたび、心配になる。同報無線で注意喚起することで、周囲も気に掛けるので、活用してほしい(40 代女性)
- 行方不明の人は放送で流れるが、不審者情報は流れない。注意喚起という意味でも行方不明の人の呼びかけと同様に発信したほうがよいのではないか(10 代女性)
- 私が住んでいる今宮地区の東側は、同報無線がとっても聞き取りづらい。何を言っているのかははっきりせず、わからない(40 代男性)

地域での見守りについて

- 決まった時間に子どもを見守る人が外に立てばよい(50 代女性)
- 不審者へ声をかけるタイミングは難しいと思う。見守り隊の人に感謝している(60 代男性)
- 不審者による被害がないように心から願っている。子どもが帰る時間になるべく外にいてもらうことはとてもよいアイデア(60 代女性)
- 子どもを狙った犯罪がふえているので地域でも見守り強化できたらよい(30 代女性)
- 小学生の孫から携帯電話に学校からメールが入ると聞いた。通学路や自宅周辺を大人が目光らせ、地域で子どもを守ることが大切(60 代女性)
- 放課後児童クラブに勤務しているため、不審者情報が近隣地域であったときには、警察や安全協会の巡回を徹底してほしい。また、児童数が多いクラブなので、巡回した様子をお伝えしてもらえると安心(50 代女性)
- 守るべき立場の大人も 1 人だけでなく複数配置し、見回りを公共手段にも協力を求め、市民の安全を確保してほしい(40 代男性)

情報発信・収集について

- 孫が学校から聞いてくると教えてくれる。スーパーマーケットなどにチラシを置いたり、ポスターを貼ったりすると、目について注意すると思う。不審者もあちこちに書いてあるとやめるのではないか(60 代女性)
- 地域の空き巣などの情報を回覧板で知ることがある。不審者情報については、学校へは最優先で知らせ、その後は回覧板などの情報でもよい気がするが、それでは後手に回ってしまうのかもしれない。小さい子どもたちはもちろん、若い女性や高齢者など弱者をねらった犯罪が起きており、どのような注意喚起が有効なのか難しいところ(50 代女性)
- ネット環境での情報だけでなく、同報無線はもちろん、タイムラグはあるが広報ふじや回覧板に載せてもいいのではないか(40 代男性)
- 不審者情報について広報ふじに載せるなど周知を図ってほしい(50 代男性)
- 情報は速やかに通知し、事故を未然に防ぐことが重要。地域の見守り活動が大事になってくる(70 代男性)
- 情報は慎重に処理して流したほうがよい(80 代男性)

- 最近、放課後児童クラブや学校付近で、不審者による重大な事件が続発している。無線だけではなく、SNSなどによる迅速な周知も必要(60 代男性)
- 安易に不審者としてみなされる情報発信が見受けられる。受けた情報をそのまま真に受けるのではなく、どんな風に不審だったのかを精査して対応したほうがよい(40 代男性)
- 情報が分かり次第できるだけ早く情報を教えてほしい(50 代女性)
- つい最近も近所で不審者情報があり、子どもたちが被害に遭わないか心配になった。小学生の子どもが家庭にいないと、不審者情報を知らない家も多い。不審者情報が多く出た地域に放送で警戒を呼びかけてくれると、お年寄りが外を散歩する時間をずらすなど、大人の目が増え、犯罪の危険を回避できるかもしれない。警察の不審者情報は場所や日時がざっくりしすぎていてあまり参考にならない。もしかしたら子どもたちが行動する少し外で犯罪が起きているかもしれないので、地図に表示してくれると、引っ越して来たばかりの人でも確認しやすい(30 代女性)
- 多種多様な方法で情報を発信すべき(60 代男性)
- 市民からの情報集約型の地図アプリなどがあってもよいのではないか。他県に住んでいたとき不審者情報のメールを登録したが、メールが意外と来るので見るのがおっくうになる。予算やシステム構築などの手間があるとは思いますが、リアルタイムに目撃情報が地図に反映されるか SNS 形式の情報揭示のアプリやページがあればすぐに広まるし、地図であればその区域を警戒しようとか違うルートにしようとか防衛意識も働く。不審者だけでなく交通関係の情報など、いろいろな用途で使える(20 代男性)

不審者情報を知らせることの是非について

- 子を持つ親として、地域の安全のため大切だと思う。不審者情報は登録しないと有効に活用できず、地域の見守り、抑止力にもつながらないのでできる限り活用していきたい(30 代女性)
- 子どもたちが成長し、今は孫たちが心配。不審者情報は必要なので続けてほしい(50 代女性)
- 子どもを守るためには必要だが、誤った情報にならないよう配慮が必要(50 代女性)
- 不審者については警察との連携が大切だが、素早く動くことが必要なので避難訓練のように訓練することも考えないといけない(40 代女性)
- 子どもが 2 人いる。つい先日も静岡県内で切りつけ事件があった。不審者が出た時はくどくらい情報を流してほしい。子どもの下校時など、不審者が出たときだけでも警察が見回るなどしてほしい(40 代女性)
- 先日の藤枝の事件や新幹線車両内の事件を考えると、老若男女問わず、命を守るために情報提供や注意喚起をお願いしたい。同報無線だけでなく、広報ふじの紙面などで身を守る方法を教えるなどもよい(60 代女性)
- 今後も引き続きお願いしたい(40 代女性)
- 子どもを持つ親として情報は欲しい。高校生の娘を持つ親だが、情報をもらったときには子どもと話し、気をつけるように言っている(40 代女性)

- 迅速に不審者情報を得たい。できれば市内だけでなく近くの県内の情報もシェアしてほしい(30 代女性)
- 頻繁にメールがくるので不審者が多いことに驚いている。子どもたちが被害に遭わないよう同報無線などはとても有効なこと。子どもたちを見守る軒先運動に協力したい。安心して暮らせる市にしたい(60 代女性)
- 不審者情報は知らないよりも多くの情報を知っていたほうがよいと思う。積極的に放送、伝達してほしい(30 代女性)
- 挨拶をした大人が不審者として扱われるので、子どもがいる私でも、子どもに挨拶をできないと感じてしまう。連れ去りや、ストーカーまがいのものは、知らせてほしい。その後も出没したか、不審者を注意することができたかを知らせてくれると、より安心できる。(30 代女性)
- 続けてほしい(60 代男性)
- 不審者が出たとき、事件が起こったとき、とにかく情報は早く伝えるべき。リアルタイムで市民がウェブ掲示板のようなものに情報をアップできる仕組みなどがあれば有効。問題は信頼性・信憑性がどうかだが、誤報だとしても発信は大事だと思う。何かあってからでは遅いので、不審者が出たとき、その地域にいる市民が目を見張り、子どもたちを守る仕組みが必要(40 代女性)
- 理不尽な事件が多くなっている気がするので、リアルタイムに、社会全体で見守る仕組みは必要(60 代男性)

その他

- コンビニエンスストアなどに長時間駐車している車の取り調べを実施すべき。住宅地の道路などの違法駐車をなくすべき(60 代男性)
- 不審者情報については、これからますます必要になってくると思うが、小・中学生の子どもが身近にいないので、つい人ごとになってしまっているのが現状(50 代女性)
- 不審者が頻繁に出没する地域や登下校で危険と思われる場所などに防犯カメラの設置をしたほうがよい。カメラの設置が犯罪の抑止力になる。不審者情報とは関係ないかもしれないが、小学校に入学するとき、黄色い帽子とバッグが子どもたちに配られるが、そのとき防犯ベルも配って、使い方の指導や、防犯教育ができれば、一人一人の子どもの命を自ら守ったり、友達の命を守ったりできるかもしれない(50 代女性)
- 事件を未然に防ぐために、もっと突っ込んで調査をお願いしたい。手ぬるいと思う。もったいなく罰すべき(70 代男性)
- 不審者の定義が必要。不審者情報として確定するまでのプロセスを明確にする必要がある。誤報や冤罪が生じてはならないことは当然のこと(60 代男性)
- あらゆる手段を使って事件が発生しないよう皆が注力すべき。防犯カメラなどもふやすとともに事前に情報を伝達し注意を呼びかけることも大切。人権の問題もあるかもしれないが、不審な人物に対しては特に警戒して事件を防止するよう一体感を持って生活できるとよい(70 代男性)

- 情報を伝えるだけではなく、見回り強化、不審者への注意を本人、家族にもしてほしい。対処を早めにしないと、減らせない。これ以上小さな子どもの事件をふやさないために、市や警察が早めに動いてほしい。よく学校付近で知的障害の人が子どもを追いかけて、子どもたちが怖がっている。何かある前に家族に注意したり、一人で出歩かないよう注意したりしてほしい(30代女性)
- 今までの事件の教訓から、学校では朝の会などで必ず生徒に不審者がいなかったか、情報をあげてもらい環境をつくることを徹底してもらえるとよい。数分で済み、これが習慣になることで、子どもたち一人一人が意識して過ごせるようになる(30代女性)
- 本当に不審人物なのか怪しい事案もある気がする(40代男性)
- 子どもを公園で遊ばせるのもままならない時代になってきている。安心して遊ばせられる環境、登下校できる環境にするために地域の力が必要。一方で地域活動には、積極的に参加したくない、強制参加は嫌だ、また、働く母がふえてそういった活動に参加するのが難しいケースもある。行政でも人手には限りがあるので、IT 技術を活用した防犯対策も導入していったらよいのではないか(30代女性)
- 少女や若者層に卑猥な声かけ、のぞき、盗撮が市の広い地域で出ている情報を見て腹立たしい。今はスマホで簡単に盗撮ができ、それが SNS で広がっている時代。最近も車に押し込んで連れ去り山中に埋められるという悲しい事件があった。今は他人には無関心の風潮があり、昔のように「叱ってくれるこわいおじさん」、も少なく、登下校時の小学生に「おはよう」「お帰り」の声をかけても「知らないおじさん」に声をかけられたという始末。防犯カメラの設置にも限度があるので、まともな大人が見送っていかなければならない。私の地区では同報無線が反響して全然何を言っているのか伝わらない。防災ラジオも聞こえず役に立たない。設置基準の見直しとスピーカーの方向を至急考えてほしい(70代男性)